

# 廃棄物（ごみ）に関するアンケート調査

平成27年9月 山梨県森林環境部環境整備課

県民の廃棄物に対する考え方を把握するため、県政モニターによるアンケート調査を実施した。

## 1 アンケート調査の実施期間

平成27年6月

## 2 県政モニター数

(1) 一般モニター	( 郵送によるアンケート調査 )	329人
(2) インターネットモニター	( 電子メールによるアンケート調査 )	71人
		<b>合計 400人</b>

## 3 回答数

(1) 一般モニター	( 郵送によるアンケート調査 )	307人
(2) インターネットモニター	( 電子メールによるアンケート調査 )	36人
		<b>合計 343人</b>

**回答率 85.8%**

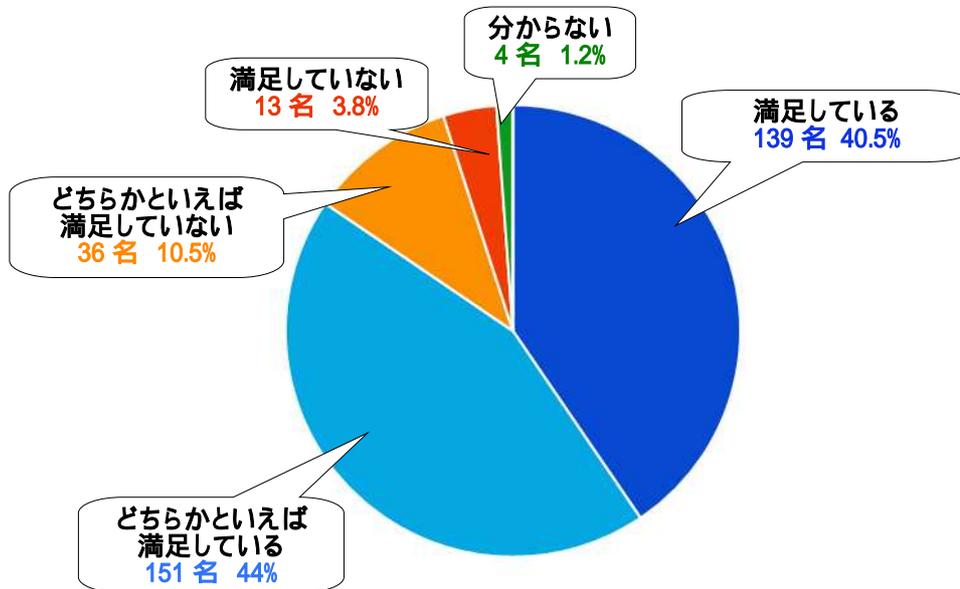
集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

#### 4 集計結果

##### 廃棄物（ごみ）についてお尋ねします。

【問1】 お住まいの地域の市町村が行っているごみの収集（収集回数や分別区分等）にどの程度満足していますか？（回答者：343名）

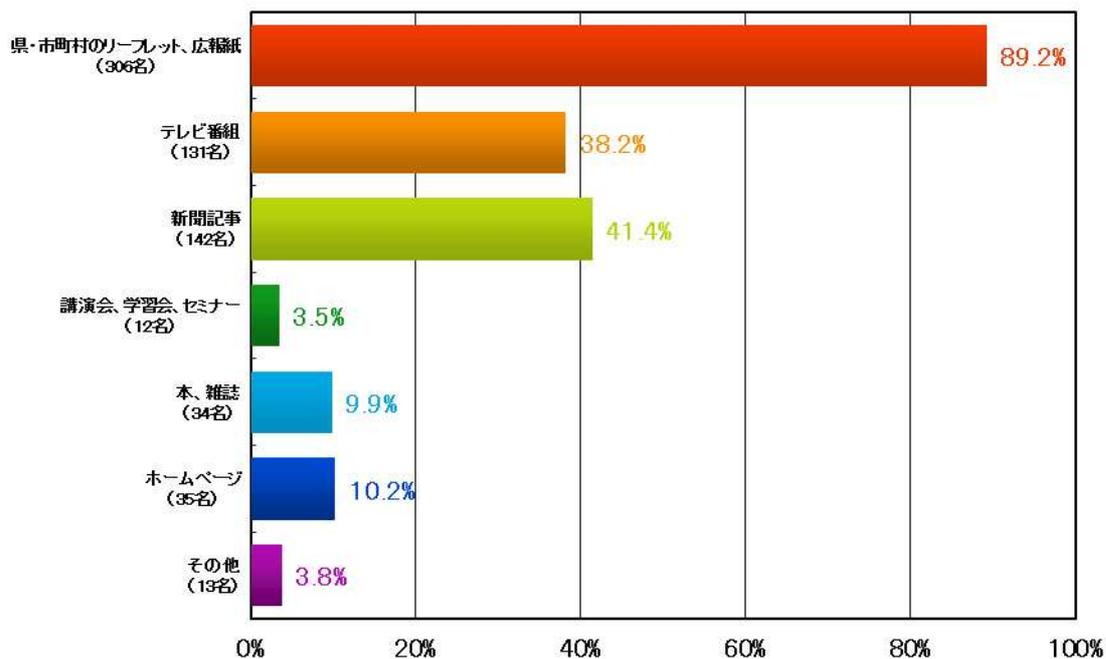
「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、84.5%でした。



【問2】 ごみ問題についての情報、知識はどこから入手していますか？（複数回答）

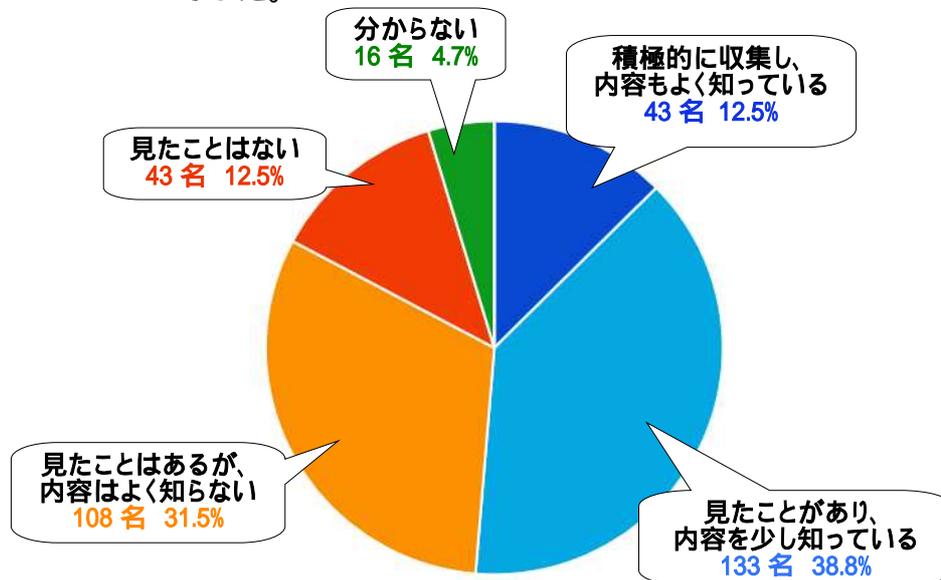
（回答者：343名）

「県・市町村のリーフレット、広報紙」という回答が89.2%、「新聞記事」という回答が41.4%、「テレビ番組」という回答が38.2%でした。



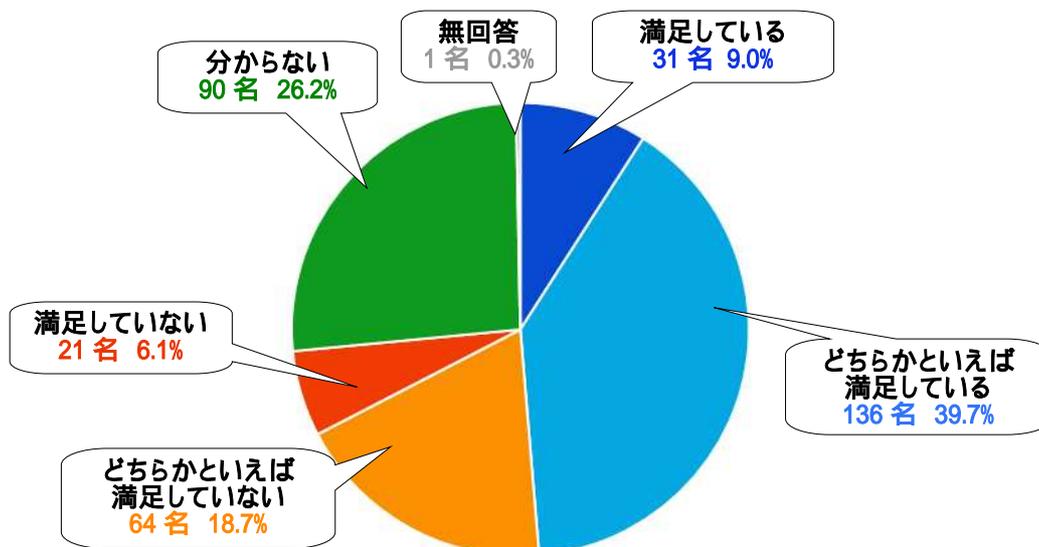
【問3】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が公開・提供している情報をどの程度知っていますか？（回答者：343名）

「積極的に収集し、内容もよく知っている」、「見たことがあり、内容を少し知っている」という回答が、51.3%でした。



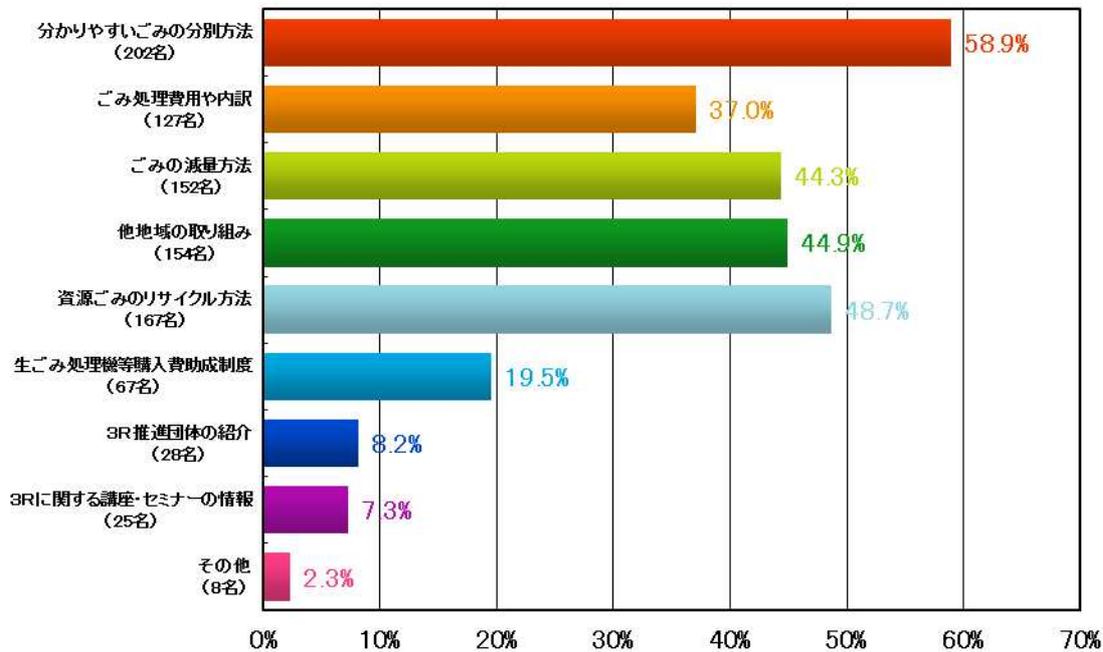
【問4】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、県や市町村が行っている情報の公開・提供にどの程度満足していますか？（回答者：342名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、48.7%でした。



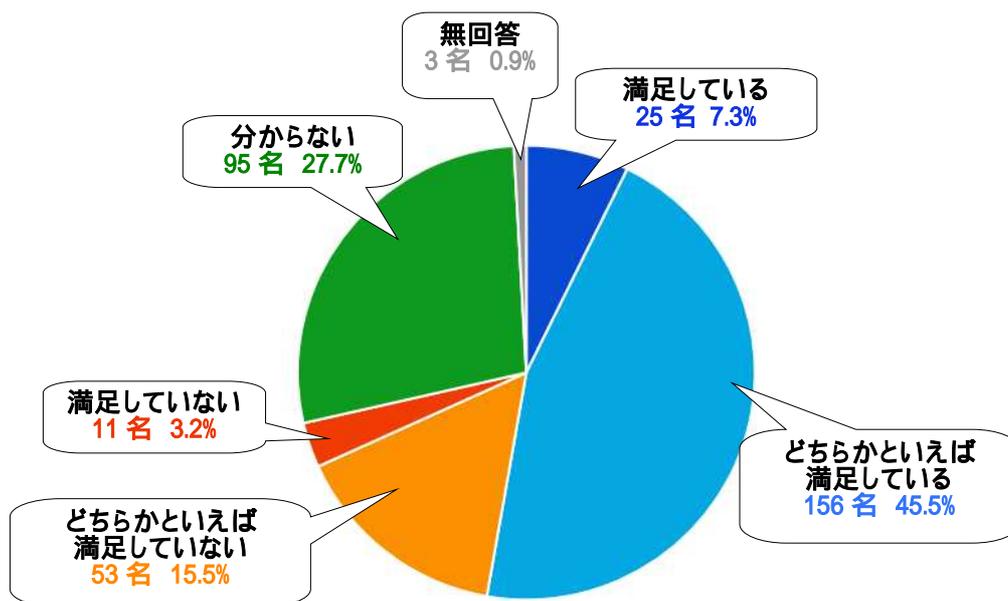
【問5】 ごみ処理や3R（排出抑制・再使用・再生利用）について、今後どのような情報が欲しいですか？（複数回答）（回答者：343名）

「分かりやすいごみの分別方法」という回答が58.9%、「資源ごみのリサイクル方法」という回答が48.7%、「他地域の取り組み」という回答が44.9%でした。



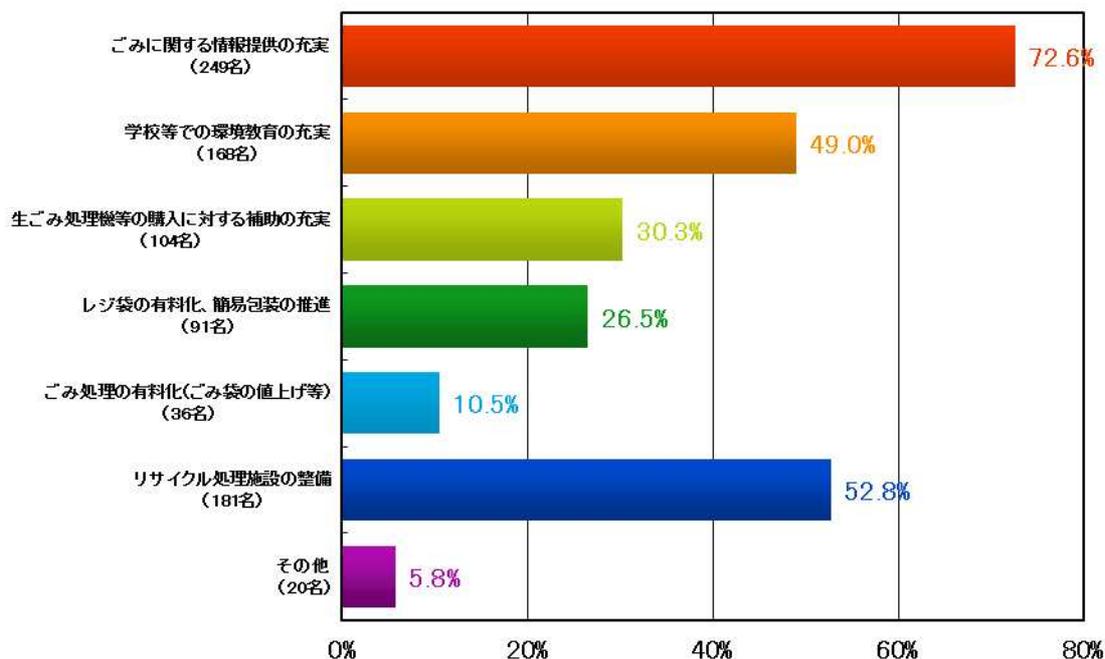
【問6】 県や市町村が行っている3R（排出抑制・再使用・再生利用）への取り組みにどの程度満足していますか？（回答者：340名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、52.8%でした。



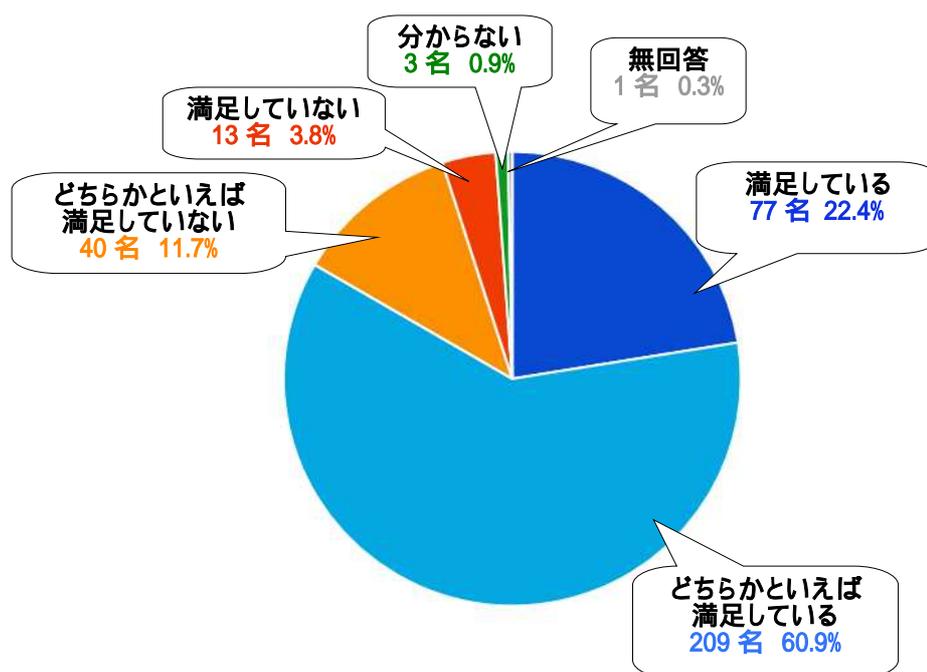
【問7】 3R（排出抑制・再使用・再生利用）を推進するために、今後、力を入れるべきだと思うのは何ですか？（複数回答）（回答者：343名）

「ごみに関する情報提供の充実」という回答が72.6%、「リサイクル処理施設の整備」という回答が52.8%、「学校等での環境教育の充実」という回答が49.0%、「生ごみ処理機等の購入に対する補助の充実」という回答が30.3%、「レジ袋の有料化、簡易包装の推進」という回答が26.5%、「ごみ処理の有料化(ごみ袋の値上げ等)」という回答が10.5%、「その他」という回答が5.8%、でした。



【問8】 お住まいの街の清潔さにどの程度満足していますか？（回答者：342名）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」という回答が、83.3%でした。

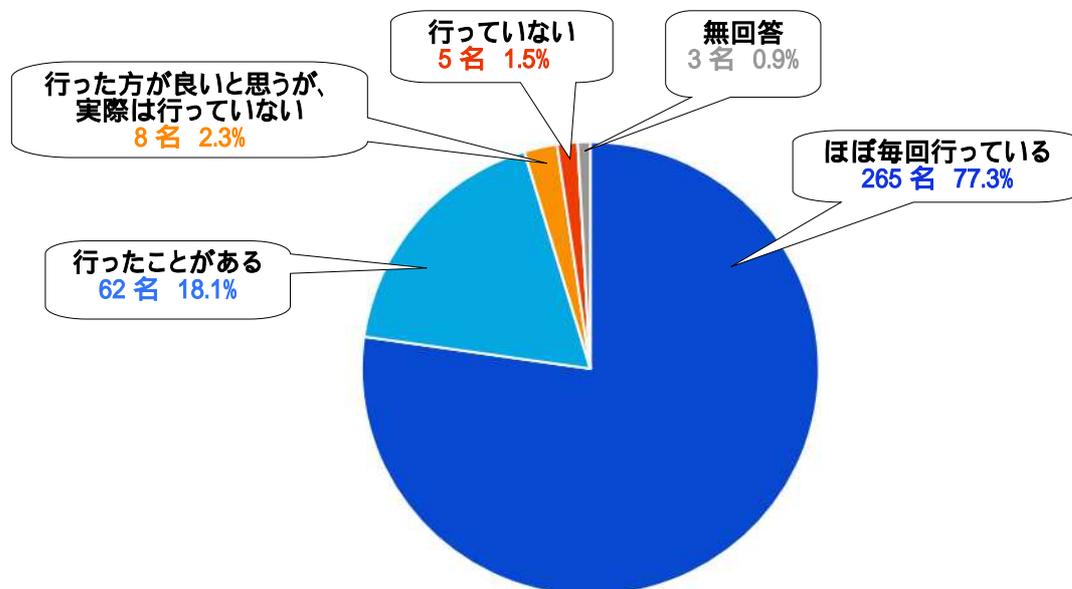


**あなたが現在行っているごみ減量化の取り組みについてお尋ねします。**

**【問9】** ごみを減らすために、買い物袋を持参したり、レジ袋を断ったりしていますか？

(回答者：340名)

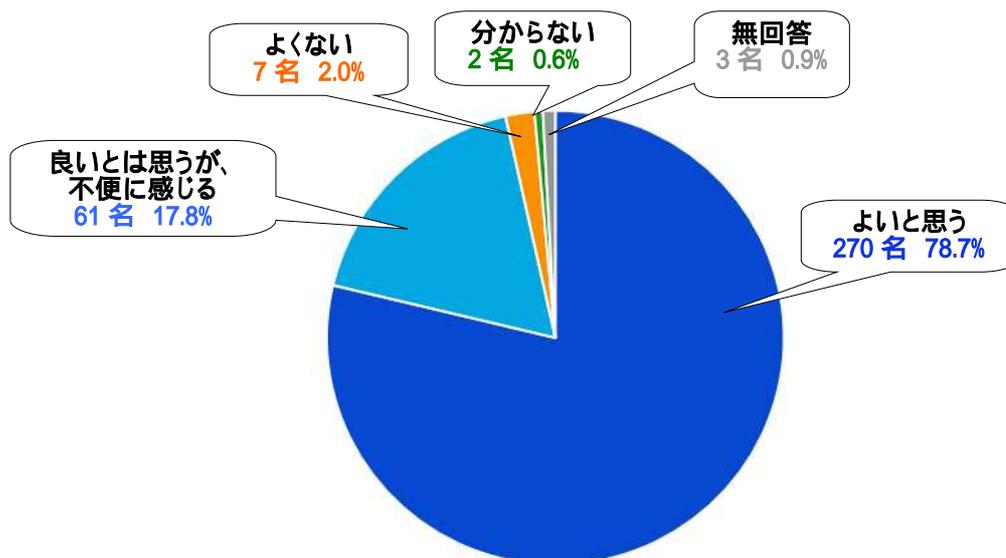
「ほぼ毎回行っている」、「行ったことがある」という回答が、95.4%でした。



**【問10】** スーパーなどでレジ袋有料化が進んでいますが、どう思われますか？

(回答者：340名)

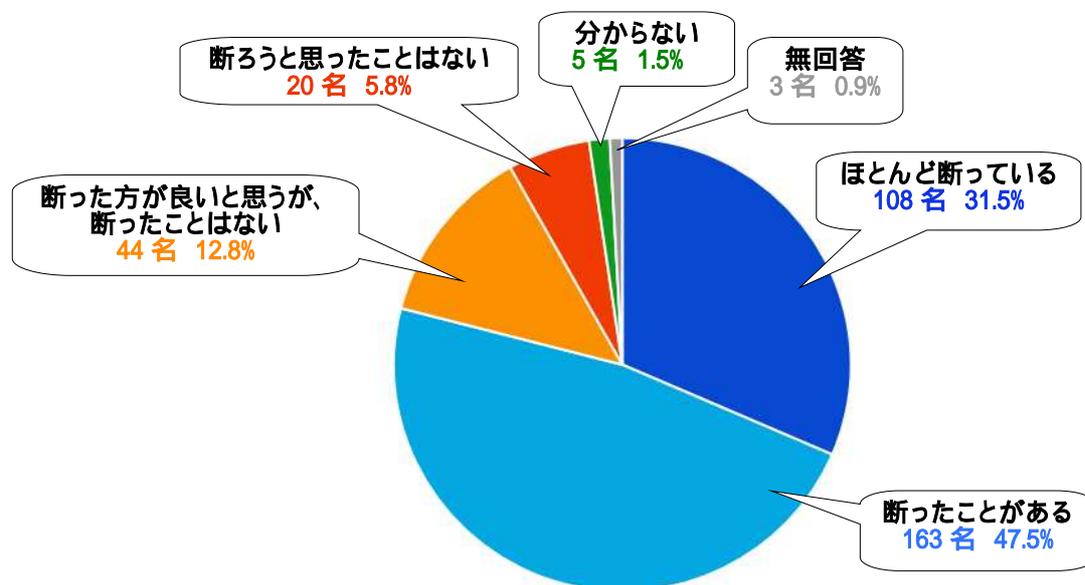
「よいと思う」という回答が、78.7%でした。



【問11】 ごみを減らすために、店での過剰包装や不要な包装（例：内容物の保護や品質保全、持ち運びの利便性の限度を超えて内装を重ねる 等）を断っていますか？

（回答者：340名）

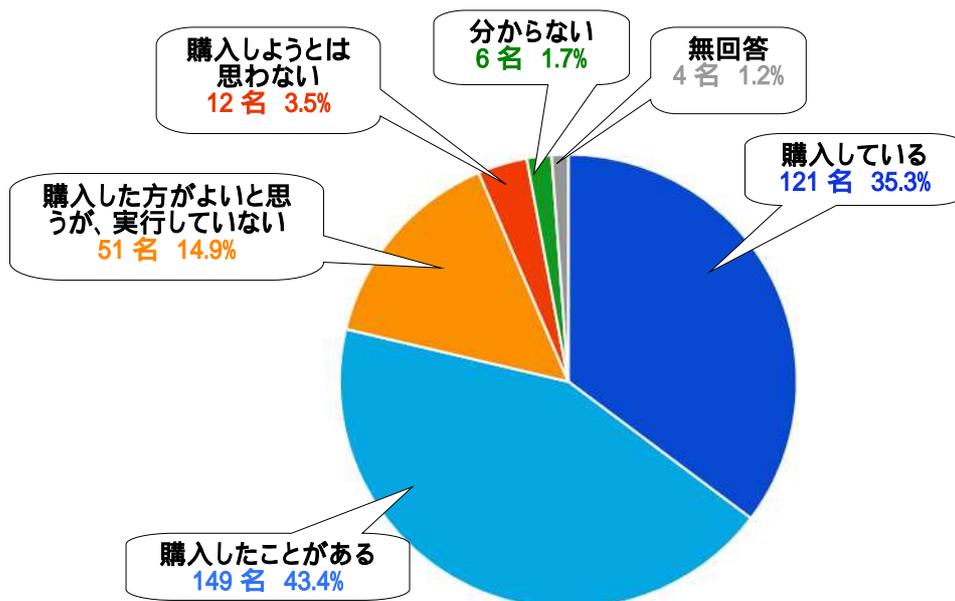
「ほとんど断っている」、「断ったことがある」という回答が79.0%でした。



【問12】 あなたは商品を購入するとき、包装されていないなどの、ごみが少なくなる商品や、長期間使用できる商品（使い捨て商品でないもの）を選んで購入していますか？

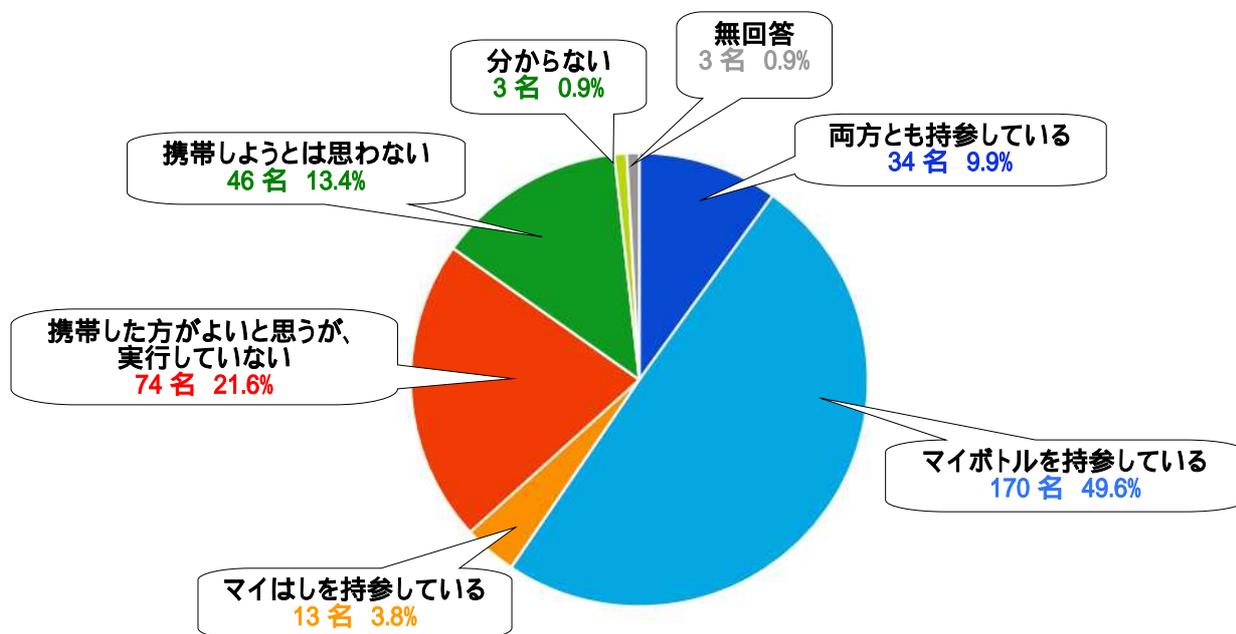
（回答者：339名）

「購入している」、「購入したことがある」という回答が、78.7%でした。



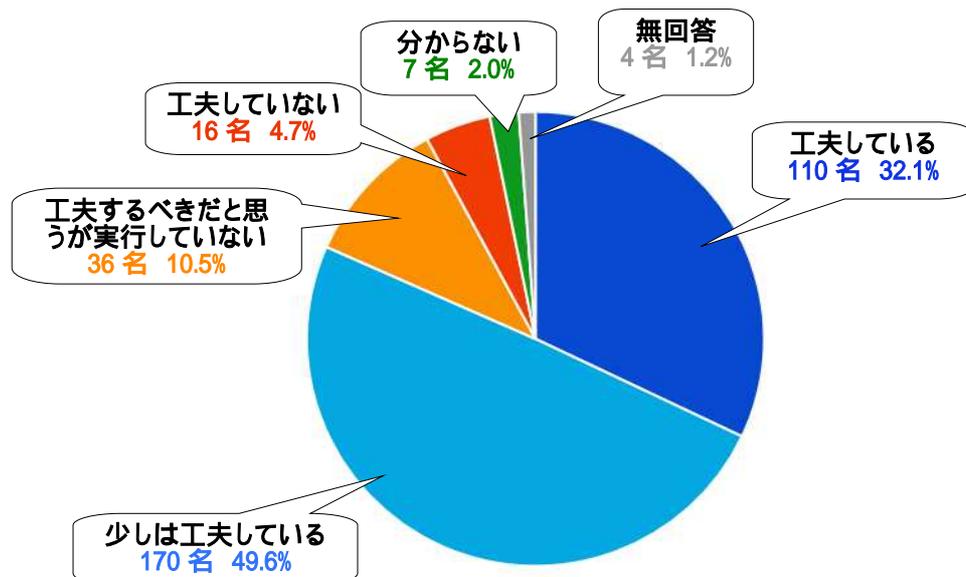
【問13】 ご自分の水筒等（マイボトル）やはし（マイはし）を携帯して、不要な容器や割りばしなどを断るようにはしていますか？（回答者：340名）

「両方とも持参している」、「マイボトルを持参している」、「マイはしを持参している」という回答が63.3%でした。



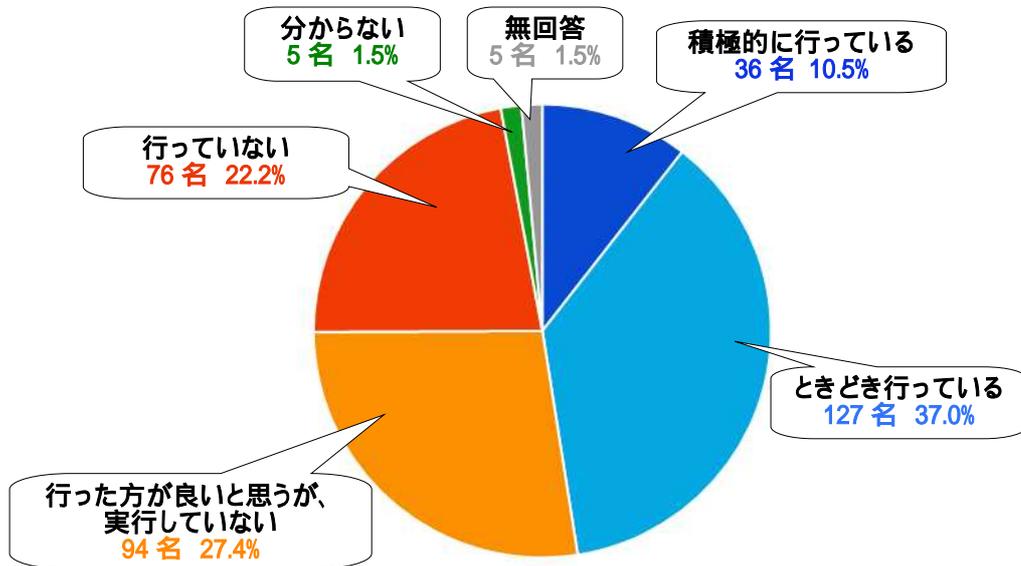
【問14】 残り物を利用するエコクッキングをしたり、食材の買いすぎ、作りすぎに注意するなど、生ごみを少なくするような工夫をしていますか？（回答者：339名）

「工夫している」、「少しは工夫している」という回答が、81.7%でした。



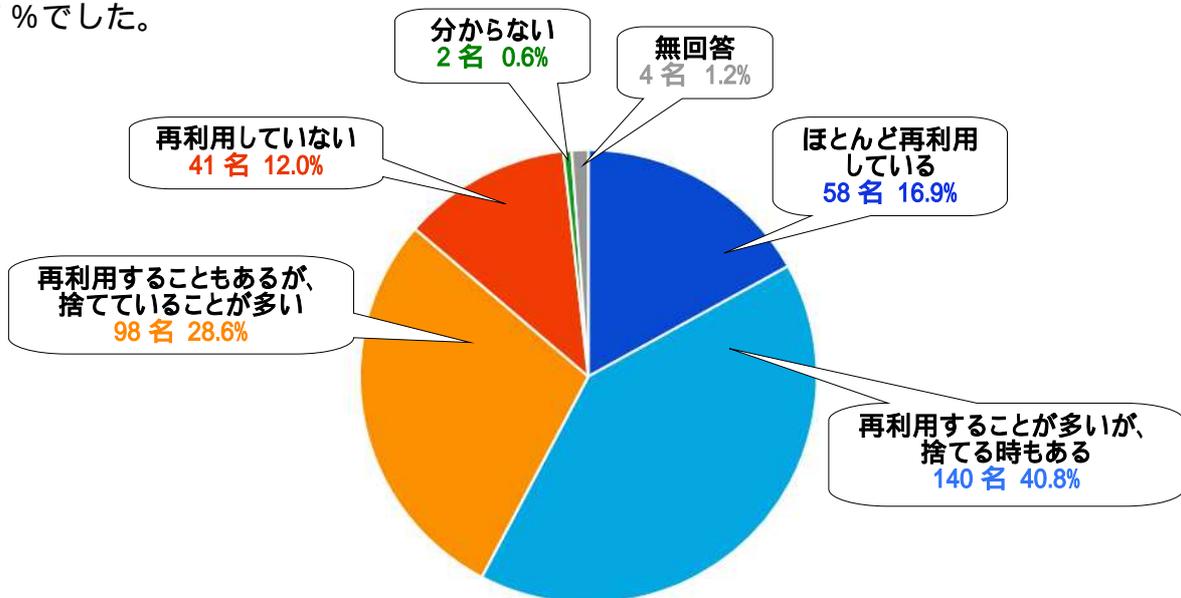
【問15】 一時的に必要な物については、レンタルなどの利用やリユース品（中古品）の購入などを行っていますか？（回答者：338名）

「積極的に行っている」、「ときどき行っている」という回答が、47.5%でした。



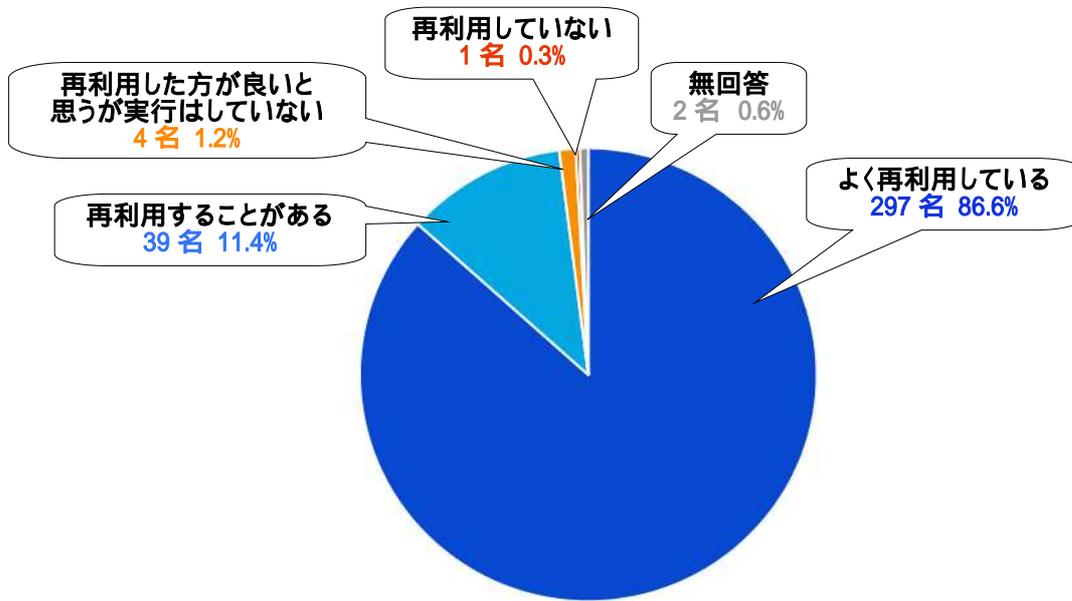
【問16】 古着などは捨てずに、資源物の回収や、フリーマーケットに出したり、雑巾に加工するなど再利用していますか？（回答者：339名）

「ほとんど再利用している」、「再利用することが多いが、捨てる時もある」という回答が57.7%でした。



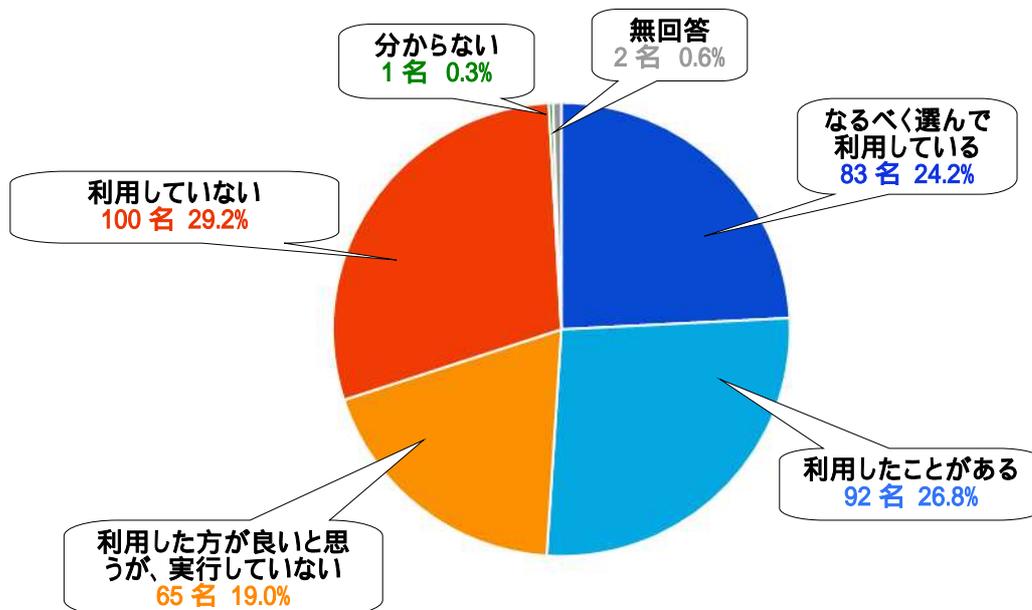
【問17】 洗剤やシャンプーなどは中味を詰め替えられる商品を選択し、容器の再利用（リユース）をしていますか？（回答者：341名）

「よく再利用している」、「再利用することがある」という回答が、98.0%でした。



【問18】 ビン入りのビールやジュースを選んで購入し、飲んだら空きピンを店に返すなど、リターナブル容器（再使用が可能な容器）の利用に心がけていますか？（回答者：341名）

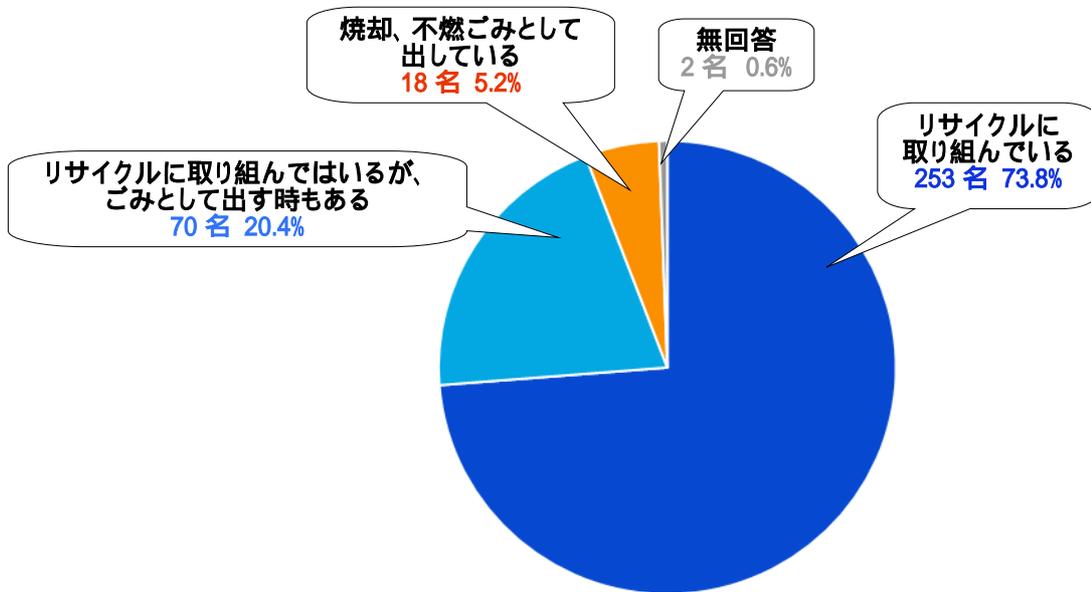
「なるべく選んで利用している」、「利用したことがある」という回答が、51.0%でした。



## ごみのリサイクルについてお尋ねします。

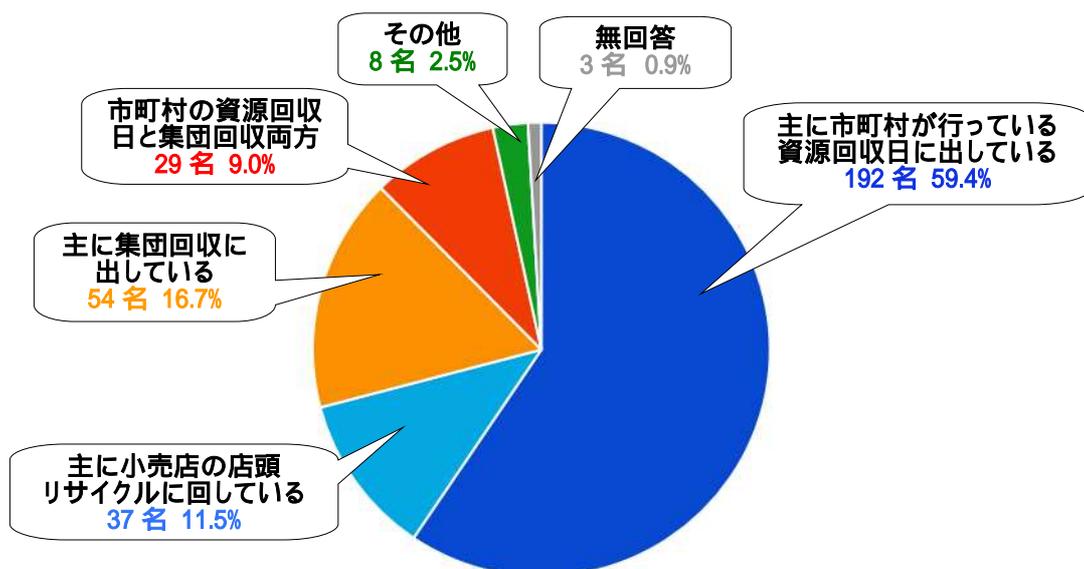
【問19】ごみ減量化のため、缶、ビン、ペットボトルなどのリサイクルに取り組んでいますか？（回答者：341名）

「リサイクルに取り組んでいる」、「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」という回答が94.2%でした。



【問20】 問19で「リサイクルに取り組んでいる」又は「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのように取り組んでいますか。（回答者：320名）

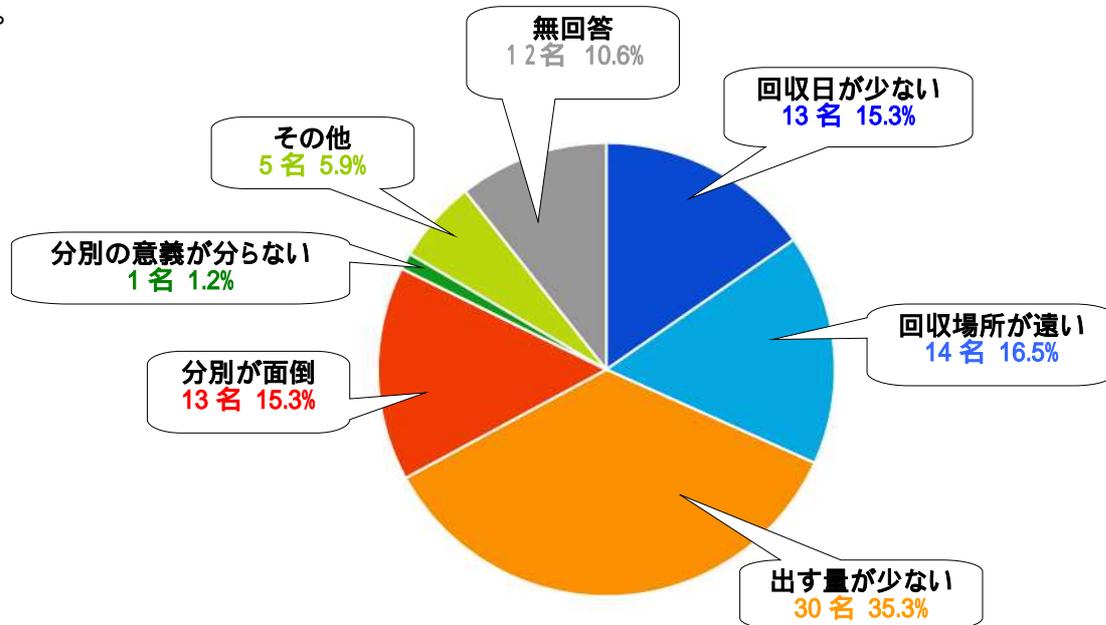
「主に市町村が行っている資源回収日に出している」という回答が、59.4%でした。



【問21】 問19で「リサイクルに取り組んではいるが、ごみとして出す時もある」又は「焼却、不燃ごみとして出している」と回答した方にお聞きします。リサイクルではなく、焼却ごみ又は不燃ごみとして出している理由で主なものを一つ選んでお答え下さい。

(回答者：76名)

「出す量が少ない」という回答が35.3%、「回収場所が遠い」という回答が16.5%でした。



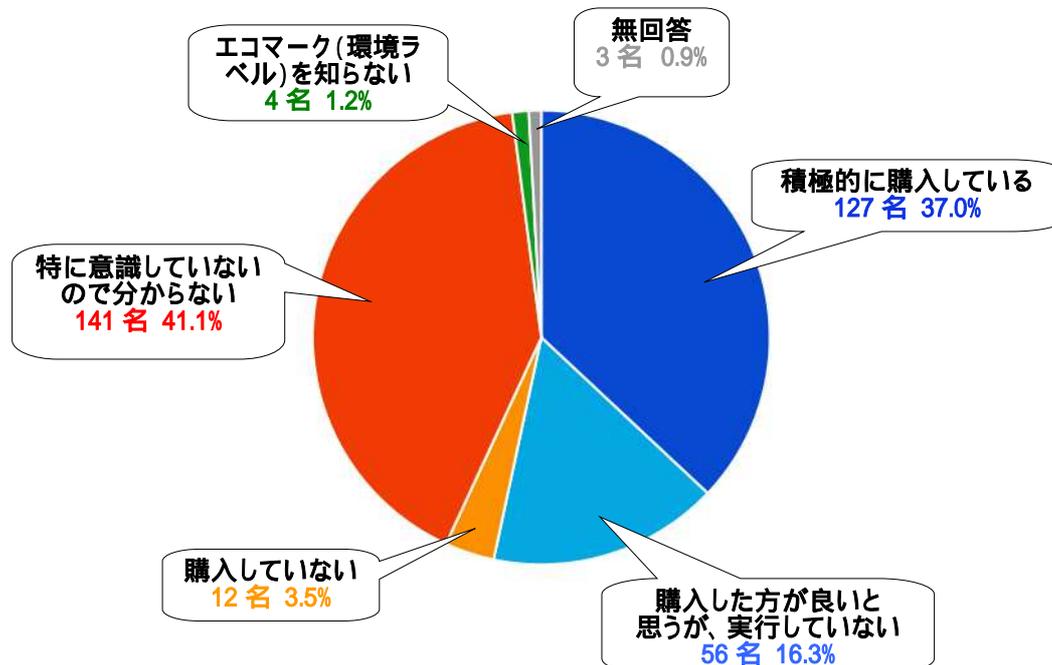
【問22】 エコマーク(環境マーク)など、環境にやさしい商品であることを表すマーク(いわゆる環境ラベル)の入った商品を購入していますか？ (例 再生紙トイレットペーパー、再生原料の台所商品、再生原料使用の文具など) (回答者：340名)

環境ラベル 一例 )



など

「積極的に購入している」という回答が37.0%でした。

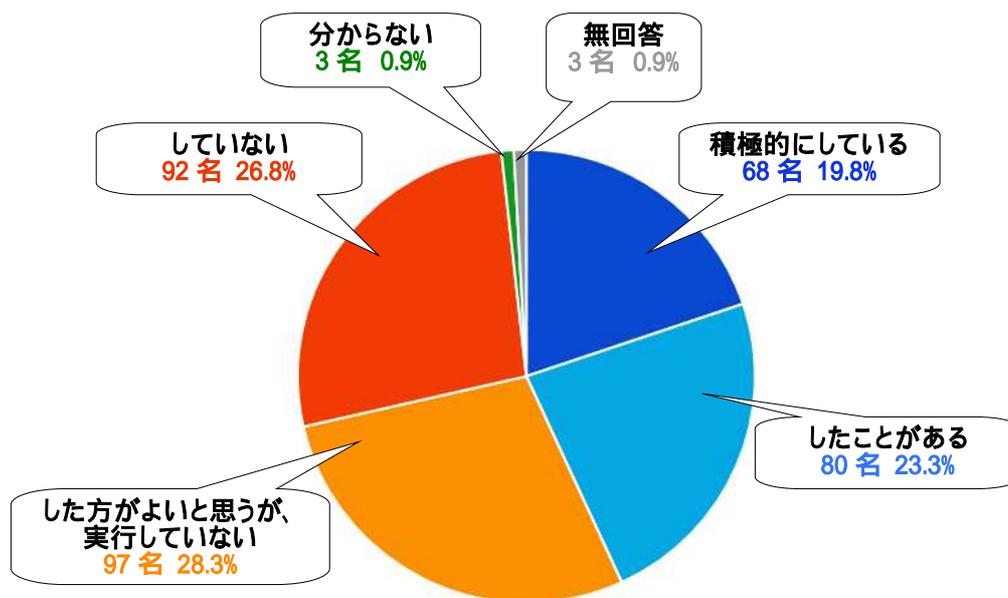


山梨県から排出される可燃ごみのうち生ごみの割合は、平成23年度が16.5%(全国平均14.2%)、平成24年度が15%(全国平均14.6%)、平成25年度が18.8%(全国平均14.2%)を占めており、全国平均を上回る割合で排出され、焼却処理されています。そこで、生ごみについてお尋ねします。

【問23】 生ごみの減量化(乾燥など)、堆肥化等のリサイクルをしていますか？

(回答者：340名)

「積極的にしている」、「したことがある」という回答が、43.1%でした。



【問24】 生ごみを減らしていくにあたって、新たな具体的な取り組みなど、何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・ アパートや団地だと、生ごみの堆肥化等は、臭気の問題もあり難しい。買いすぎ、作り過ぎに気を付けても生ごみは出る。臭気や置き場に困らず、安価な家庭用生ごみ処理機があれば良いと思う。
- ・ 学校、事業所、レジャー施設など、大量の生ごみを地域ごとに集めて堆肥化し、それを希望者が安く買えるような取り組みができると良いと思う。
- ・ 以前、食品チェーン店で、調理前に捨てられるキャベツの外側の葉を動物園に無料で届けているニュースを見た。一定量を確保できれば、そのような取り組みもできると思う。
- ・ 意識向上のため、市町村間でごみ削減量を楽しく競い合える施策を打ち出し、結果を公開する方法が良いと思う。
- ・ 可燃ごみと生ごみを分けて出し、生ごみは堆肥にするようなシステムが作れたら良いと思う。家庭ごみを集める際、ネットや袋を使っているはずなので、そのネットや袋は土にかえるような素材にすれば良いと思う。

山梨県民の1人1日当たりのごみの排出量は、H21年度実績が1,013g、H22年度実績が1,001g、H23年度実績が1,003g、平成24年度実績が991g、平成25年度実績が987gであり、概ね減少傾向にあります。そこで、ごみの減量化についてお尋ねします。

【問25】 ごみを減らしていくにあたって、重要と思われることや新たな取り組みなど、何かご意見をお持ちですか？

(主なご意見)

- ・ シャンプーなど詰め替えられるものは詰め替える。ペットボトルなど再利用できるものはする。ごみは資源になる、ということを強く示す。
- ・ ごみ袋を出して良い量を決める。
- ・ 一人一人の意識を高める。
- ・ 子供の頃から教育する。
- ・ 自然に分解されるビニール容器に変わるものなどを開発する。
- ・ 衣類回収もあれば、リユース、リサイクルできると思う。
- ・ レジ袋の有料化や、ポイント加算などのサービスは、マイバック持参の取り組みに有効だと思う。少量でも参加できるフリーマーケットやリユース品を購入できる場が身近にあると良いと思う。
- ・ ごみ減量化については、市町村のホームページに具体的な取り組み等について、詳細に掲載されているが、そうしたものを見ない人もいるので、広報誌等での啓発活動を継続的に実施していく必要があると思う。市町村が実施している各家庭から排出された可燃ごみの内容の調査結果について、各地区の住民に還元することも効果的だと思う。
- ・ 住民、事業者、行政が一体となり、ごみ資源の分別をし、個々にごみを減らすという意識を持つ必要があると思う。